

前回協議会（視察）でお寄せいただいた意見・感想等

1 視察日・視察先

令和5年3月27日

- 杉九学童クラブ・放課後等居場所事業（愛称：すぎくラブ）
- 子ども・子育てプラザ成田西
- コミュニティふらっと永福

2 意見・感想等

杉九学童クラブ・放課後等居場所事業（愛称：すぎくラブ）について

- どちらの施設も環境に恵まれており、特に目立った問題は見受けられなかったです。環境が優れている施設より、問題を抱えながらも運営している施設も一緒に見学した方が、全体のバランス・問題点が明確になると思いました。
- 近年は体を動かすことが、苦手な子供の数が増加傾向にあります。家でのゲーム時間も多くあるので、ぜひ広い空間のある場所の確保を準備しておいて、どの様に対応して、良い結果をだせるかが課題であると思う。
- 校内に位置することで、交通の安全が確保されているので、保護者としてはとても安心です。環境（教室、机、収納棚、ランドセル棚、遊具など）も素晴らしく、利用人数に対しても（外遊び中であつたとは思いますが）人手は足りていると感じられました。
- 一方で、環境が杉九さんのような放課後等居場所事業もあります。占有出来る棚すらなく、ランドセルはブルーシートの上に学年毎にまとめて置かれ、お部屋の区切りもないホールで全学年一緒に過ごしていました。集中出来る環境とは言えません。まだ、整備の途中とは思いますが、利用者はそこしか知り得ません。比べる事も出来ません。現状しか知らないのも、素晴らしい適応能力を発揮されて、楽しく過ごされています。でも、施設的に差があり過ぎるのはよろしく無いと考えます。現状を杉九さんに近づけて、どこの学童・放課後居場所も過ごしやすくしていただけるよう望みます。
- どちらも学校内にあり、安全面はとても良いと思いました。
- 広さも設備も明るさも十分だと思えます。
- 隙間の空間や本がたくさんあって、人と交わりたくない時も一人でいられる空間があつて良いと思いました。
- 校庭で両方のこどもたちが一緒に遊べるのも良いと思えます。
- スタッフの人数も多く、企画もたくさんあつてとてもうらやましいです。
- 学校内だと近隣の私立に通っている人は学童に入りづらいのかもと思いました。
- 学童クラブと放課後等居場所事業について、スペースは分けられていますが、学童クラブの子どもが放課後等居場所事業のプログラムに参加できる、一緒に運動場を利用できるなど、学校を拠点にしていることにより、柔軟に連携を図りながら運営されているのが良いと思いました。親御さんも、学校のなかに学童クラブがあるのは安心だと思えます。
- 参考資料として配布された利用状況のデータを拝見すると、学童クラブの登録希望数が増加し

ているなかで、待機児童数は2百数十名で抑えられているところをみると、学童クラブの受け入れ枠を増やす取り組みは今後も重要であり、すぎクラブのように、学童クラブと放課後等居場所事業を連動させた居場所づくりは理にかなっていると言えます。

- 参考資料の放課後等居場所事業に関する子どもアンケートの結果からは、学校でも家庭でもない、第三の居場所として機能していることが見て取れました。視察の際にも、友だちと遊んでいる子ども、ダンスしている子ども、一人で本を読んでいる子ども、いろいろでしたが、思い思いに過ごしている様子が伝わりました。学校では、みんなで一緒に、という活動が多いと思いますので、それぞれの子どもがやりたいことを選べる（何もしないことも含めて）ことが保障されることが重要であり、そのための工夫（部屋割り、職員配置など）がなされていることがわかりました。

子ども・子育てプラザ成田西について

- 区全体を通して、アンケートにもあるように、子ども・子育てプラザへのアクセス良し悪しはありそうです。
- 7カ所ということですが、地図上で見ても隙間を感じるエリアもあります。その辺りのニーズや意見等を集める事をご検討頂ければと思います。
- 成田西の施設に関しては、全体的にバランスがいい印象です。
- 小アリーナと言える広い空間の部屋があるにもかかわらず、遊戯道具を設置して、遊びを限定し、提供しています。しかし、子どもには思い切り走りまわられる状態をつくっておいて、体を充分に使って運動をし、遊びの想像力を培って欲しいと思う。
- 施設はリフォームされて、快適そのものと思えます。マタニティの方への取り組みも始められていて、充実した施設であると感じられました。ぜひどの地区にも、歩ける範囲もしくはすぎ丸で行けるように工夫をお願いします。
- 一方、保育園も拡充して、児童館をプラザにして、乳幼児は手厚く、小学生は校内で安全に、では中学生はどこに行けというのだろうとも思います。
- 施設利用の連続性が無いので、プラザの中に中高生タイムや場所があっても、知る機会はありません。
- 部活動の外部移行を勧めて、その活動を変えていこうとするならば、尚更中学生の放課後の居場所・過ごし方を考えなければネットやゲームに浸ってしまう時間が増えるように危惧しています。
- 私が乳幼児を育てていた時は、児童館で午前中だけ狭い空間での利用だったので、とても充実した施設でうらやましかったです。プレイホールは本当に楽しそうで、きっと子どもたちにとっては小さなテーマパークなのではないでしょうか。
- 他の子ども・子育てプラザを見ていないのですが、きっとこの施設のある地域には若いファミリーが住みたいと思うでしょうし、増えていると思います。その世代の子どもたちが大きくなった時にも見捨てないサービスがある施設を早く作ってほしいと思いました。
- 母親父親学級を子ども・子育てプラザで実施しているところがとても良いと思いました。子どもが生まれてから初めてプラザに通うよりも、事前に行ったことがあれば、利用のハードルが下がり、利用しやすい状況を生み出していると思います。ニュースレターでも父親参加を促す

プログラムがあり、こういった点でも配慮が行き届いており、工夫がなされていると思いました。

- 掲示板などがとても工夫されていました。ネットで得られる情報よりも、同じ地域で子育てしている方々の経験や、職員の目を通したうえで掲示される情報は信頼性が高く、安心できるのではないのでしょうか。また、さまざまな意見をバランスよく掲載していることも見て取れました。職員の方の資質が高いことを示唆しているように思います。
- 一時預かりを同じ建物内で行っているところが良いです。孤立した子育てをされていらっしゃる方が多いなかで、交流・相談・一時預かり機能もふくめて同じ建物内にあることは、利用しやすさにつながると思います。
- 小学生が利用できる拠点であることも魅力的だと感じました。学童であれ、放課後等居場所事業であれ、家の近くに安心できる場所があることが大切だと考えます。

コミュニティふらっと永福（中・高校生の新たな居場所づくりの取組）について

- 区在住の中・高校生の利用とのことですが、例えば友達と2人以上での利用で1人は区民だけで1人は区外だった場合、利用出来ないという事になりますか？
- 元々杉並育ちの小・中学生が、区外に転出した後でも杉並の友人との遊び場に杉並施設を利用する事が出来ればと思っています。例えば複数人利用で1人でも杉並の生徒がいれば利用できる等、施設を利用したい子ども達を受け入れて頂ければと思います。
- 当施設に関しては、とても素敵な環境だと思いました。
- すばらしい施設が完成されて、来館者の様子も分かりました。これからは、PRを多くして、区民にその存在を知ってもらい、利用してもらう必要があると思う。
- とても素晴らしい施設だと思います。図書館との複合化なので沢山の目もあり、子どもも安心してラウンジ使用が出来るなと思いました。
- 図書館の施設改修や新築の場合には、コミュニティふらっととの複合化をぜひ検討していただきたいと思いました。
- スペースを分け合っているからこそ見張られている感じもなく大人の目がある施設は、小学生高学年や中学生にとって貴重だと思います。困った時には大人の助けがあるという安心感は、変え難いと思いました。
- 図書館と一緒にあることがとても良いと思いました。
- 春休みのあの時間でも多くの方が利用していたので、きっと休みでない普通の日も夜も多いのかなと思いました。
- また、中高生向けの情報発信、イベント告知のパンフレットなどが色々置いてあるのもとても良いと思いました。
- 予約の必要のないフリースペースがほぼ満席で、人気の高さがうかがえました。清潔でおしゃれなカフェのような雰囲気であることもあって、一人で勉強したい子も、おしゃべりしたい子も、利用したいと思える場所になっていると思います。多世代の方々が利用できる施設ですと、高齢者の方々の利用がメインになりがちですが、若者ウエルカムの雰囲気が随所にあり、AY A世代が利用しやすい場所になっていると感じました。

その他、児童館再編の取組全般について

- 放課後居場所事業に関するアンケートについて、『どちらとも言えない』という回答が目立っていると感じました。
- 回答者の持ち合わせている必要な情報が均一でない、賛成や反対の理由について判断が困難であると感じます。
- 区としてはこうしたいが、こういう意見もある等、中立的な立場からのアプローチが必要なのではと感じます。
- ワークショップなど施設利用者参加型のイベントも良いと思いますし、その結果をアウトプットした広報ポスター（区施設に掲示する A3 くらいの）等、もう少し情報を提供した上で意見を求める方が、よりよい成果になるのではないのでしょうか？
- 子どもの居場所づくりが学校の敷地内に作られているのは、利用価値・頻度ともに有意義なことと思います。
- 同じような提案になりますが、和泉学園や高井戸児童館のような、広い空間のある施設が多く出来ることを希望します。それが現在の子どもの必要付加価値のある状態と思うからです。
- 又、利用方法の検討も必要です。
- 良い施設にはどんな年齢層でもちゃんと人が集まるということを痛感しました。
- 児童館が再編され別々の施設になるのならば、各地域に早く偏りなく乳幼児・小学生・中高生の居場所を配置してほしいと思いました。乳幼児まではサービスがいい、でも大きくなったら・・・と不安にさせてはいけないと思います。あっちの地域はいいけど、こっちはまいち・・・というのも悲しいです。
- 再編とは離れてしましますが、杉並全体の施設はもっと明るく、開放的な空間にしてほしいと思います。コミュニティふらっと永福の入口は小さく暗い感じがしました。こどもたちが駆け込みやすい入りやすさも必要と思います。